

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	保健体育課	氏名	俵 正光
派遣先 団体名	認定特定非営利法人まごころサービス松江センター		
<p>① 研修の日時 8月25日(火)～27日(木)グループホームまごころの家 9月1日(火)～2日(水) グループホームまごころの家・こしばら</p> <p>② 研修の内容</p> <p><b>■グループホームの運営方針</b> 認知症になっても住み慣れた街で普通の暮らしを送っていただくために、利用者一人一人の生活にとことん向き合い、気持ちに共感し、その方に合ったペースで支援をしている。 また、「今日が一番いい日」を目指し、今日一日が幸せな日であるよう、まごころのある支援を行い、明るく笑顔のあふれるホームを目指している。</p> <p><b>■認知症</b> 主な特徴としては、ものわすれ(直前に体験した記憶が無い)、内心はものすごく不安である、ということ。 スタッフは、おだやかで安心して生活していけるよう、個々の利用者への気配りや家族に接するような介助を行っておられた。利用者の反応を引き出すように意識し、ゆっくり、ハッキリと話すことが大事であると感じた。</p> <p><b>■グループホームでの生活を通して</b></p> <p>(1)女性の利用者には毎日、お化粧をする。 日々をグループホームで過ごす利用者にとって、日常生活のメリハリをつけ、女性であることへの意識・自覚を促すために効果が大である。実際、様子を拝見し、化粧後はみなさん、表情が凜としていたように感じた。</p> <p>(2)みなさん歌を歌うのが大好き。 レク活動の一つとして毎日、童謡・唱歌・演歌などを歌う時間を設けている。歌の時間が始まると体を小刻みに動かすなどリズムに乗って楽しまれていた。また、表情が豊かになり、感情が表に出てくる方がおられたのが印象的であった。音楽は心のエネルギーだと改めて感じた。</p> <p>(3)やきとりじさん体操 車椅子で生活される方が多く、同じ姿勢でいると体が固まってくるので、介助しやすくするためにも体を動かす時間を設けている。また、スタッフ自身のストレッチのための側面もある。この体操、かなりインパクト大で刺激的なものでした(笑)</p>			

#### (4) 食事

野菜、肉や魚など材料にできるだけこだわり、手作りで食事を提供されている。嚥下・咀嚼障害がある方には、味付けは同じままでペースト状にするなど一人一人の状況に応じて食の形態に配慮されていた。この食事、利用者に大変好評で、みなさん口々に「この食事はおいしいでしょう。ほかではないよ」とうれしそうに自慢されていた。

#### (5) 看取り

最期まで一人の人間として生きて欲しい。人間としての尊厳を大事にするため、まごころの家では、「看取り」をおこなっている。スタッフの想いに共感し、病院ではなく、まごころの家で看取って欲しいという利用者の家族が多いとのこと。最期まで、まわりの温もりが感じられるところで過ごすことができる、すばらしい取り組みだと思う。

#### ③ 研修の感想

私の家族が通所介護施設で勤めていることもあり、介護分野の実情を少しでも理解したと思い今回、研修先として選択させていただきました。

まごころの家では、スタッフのみなさんが利用者に寄り添って、常に笑顔で、そして、楽しみながら介助されています。利用者の方もおだやかな表情で生活されており、まさに大家族のような雰囲気がここありました。ここでは、利用者が生かされているのではなく、人間らしく生活している、ということにとってもうれしく、また深い感銘を受けました。

また、地域の方が野菜を差し入れたり、利用者が“ご卒業”された家族の方がふらっとレク活動の手伝いに来たりする様子を拝見し、スタッフのみなさんの運営に対する姿勢・行動が、周りの方々の支援に繋がっているのだなと感じました。

利用者のために生活支援や社会支援を行う専門職として、仕事に対する誇り・やりがいに見合った社会的地位が必要ではないでしょうか。介護現場にとってマイナスとなるニュースばかり報道される状況ですが、こんなにも利用者に寄り添った介護があることを多くの方に知って欲しいと思います。誰もが迎える最期。まずは、介護へ関心を持つことが大事ではないかと思います。

最後に、家族の最期を迎える時、どのように過ごすのか、一番楽しく自然な最期は何か、考えるきっかけを与えていただきました。お忙しい中、研修の受け入れに快諾いただいたグループホームのみなさんに感謝します。

【研修スナップ】



《まごころの家》



《タオルを使った体操です》



《フラワーアレンジメント教室》



《お食事中～》



《まごころの家・こしばら》



《ハーモニカの先生と歌います》



《唱歌・童謡を歌います》



《まごころ写真館》